

**平成29年度一般財団法人新潟市海洋河川文化財団
事業計画書**

● **事業概要**

期 間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
概 要	<p>当財団は、公益財団法人へ移行（平成29年4月移行予定）し、最初の年となる。</p> <p>公益目的事業である、「海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業」と「海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業」を中心に、新潟市の文化醸成に寄与するとともに、指定管理者として新潟市水族館の適正な管理運営を行っていく。</p> <p>上記以外にも、法人の安定的運営や共同事業体である新潟市開発公社との連携強化に努めていく。</p>
事業名	<p>【公益目的事業】</p> <p>1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業</p> <p>2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業</p> <p>【収益事業】</p> <p>1 施設管理に付帯する事業</p>

● **公益目的事業**

1 海洋・河川文化の普及啓発、調査研究及び保護継承事業
<p>【事業目的】</p> <p>新潟における海洋・河川文化の現状や変遷を調査研究及び情報発信することにより、海洋・河川文化及び海洋・河川等、人との関わりの大切さを後世に継承し、併せて地域社会の持続的発展の担い手を育む。</p> <p>【事業内容】</p> <p>(1) 海洋・河川文化の普及啓発</p> <p>ア. 体験学習会、自然観察会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟の海岸・河川・湖沼で、「自然観察会」や「体験学習会」を実施。そこに生息する生物や生息環境を観察するとともに、地域の自然に寄り添って醸成されてきた生業を含む生活文化に触れる。 ・田植えや稲刈り、脱穀及び稲わら利用の作業体験とともに、田んぼをすみ場とする水生生物を観察することで、食文化や自然との共生など、新潟独自の生活文化を体験的に学ぶ。 <p>イ. 講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海文化や環境文化等の人文社会科学系研究者及び生物学・水産学の自然科学系研究者による講演会を開催し、海洋・河川文化の普及啓発を図る。

ウ. 社会教育施設等との連携

- ・海洋・河川文化の普及啓発を図るため、社会教育施設（博物館、図書館、公民館）や大学、研究機関と連携を行う。
- ・水生生物やその生息環境及びそれらと新潟の生活文化との関わりに関する正しい知識、教養の向上を図るため、学校教育施設等からの授業依頼、実習等の受け入れを行う。

(2) 海洋・河川文化の調査研究

- ・大学等の研究機関との連携・共同研究を通して、生物学等へ寄与するとともに、新潟特有の地形や風土とそこに分布する生物と地域の生活文化との関連性について調査研究を行う。
- ・新潟に分布する希少な水生生物の生物学的研究を行う。
- ・海洋・河川に漂着した生物等の情報を収集し、自然・海洋・河川の状況変化などの情報分析を行う。
- ・飼育生物の繁殖状況、生物の研究発表、他園館との生物交換及び（公社）日本動物園水族館協会と情報交換・機能連携を行う。

(3) 海洋・河川文化の保護保全（生物種の保全を含む）

- ・各種保護団体と連携協力などを通じて、海洋・河川文化の資源を掘り起こすとともに、地域環境の変化について情報収集を行う。
- ・絶滅危惧種等の生息域調査を行い、これらの繁殖技術の確立、向上に取り組むことにより海洋・河川文化資源の保護保存を行う。

2 海洋・河川に生息する水生生物とその生息環境の展示及び飼育事業

【事業目的】

新潟の自然環境とそこに生息する水生生物の展示を基礎としながら、多種多様な環境の生物を展示し、各種体験型プログラムを実施することで、市民が海洋・河川や水生生物などに親しむ機会の充実などを図り、海洋・河川に関心を持つきっかけとなる機会を創出する。

【事業内容】

(1) 水生生物に関する知識の普及振興

- ・新潟の四季を意識したテーマの特別展示を開催し、生物多様性の重要性について普及啓発する。
- ・来館者向け「ハンズ・オン展示」や「生き物に触れ観察できるプログラム」、「視聴覚機材を使用した解説プログラム」など体験型プログラムを提供し、水生生物を身近に感じてもらう。
- ・各年代を対象に設定した体験型プログラムを実施し、地域独自の生物とそれに関わる生活文化を学ぶ機会を提供する。
- ・ホームページやSNS、情報誌等の媒体を活用して、水生生物に関する知識や海洋・河川文化の普及啓発及び活動を積極的に発信する。

(2) 水生生物の収集、飼育、展示

- ・水生生物の収集、繁殖に取り組み、500種20,000点を超える飼育規模を維持し、水生生物や自然環境について分かりやすく展示を行う。

● 収益事業

1 施設管理に付帯する事業

【事業目的】

施設利用者に対する利便性を図るため、レストラン及び売店、自動販売機等の設置を行う。

【事業内容】

(1) レストラン 1ヶ所

(2) 軽食 2ヶ所

※季節・天候により営業中止

(3) 売店 1ヶ所

(4) 自動販売機 17ヶ所

(5) その他 ロッカー、記念メダル、プリクラ